

## 柳川啓一氏文書(1)概要

1: 文書群番号	087013
2: 文書群名	柳川啓一氏文書(1)
3: 出所	柳川啓一家
4: 家業・役職等	庄屋・戸長・部落総代・大庄村会議員
5: 地名	摂津国武庫郡東新田／兵庫県武庫郡東新田／武庫郡大庄村東新田／尼崎市東／尼崎市東・琴浦町ほか
6: 行政区分	幕府領／尼崎藩領／兵庫県第7区／西新田組戸長役場／大庄村／尼崎市
7: 歴史	<p>東新田村は、市城南西部に位置しており、集落の南に中国街道が接していた。もとは西新田と一体で、戦国時代に東大島・浜田の南に開発されたものと考えられる。浜田とともに浜田荘の荘域であった。東新田の史料上の初見は慶長10年(1605)。</p> <p>近世初期には幕府領、元和3年(1617)尼崎藩領となり、明治に至った。村高は慶長10年に285石余、天保5年(1834)に474石余とあり、天保期の石高には寛永14年(1637)に高入れされた新田が含まれている。また、天和・貞享年間(1681～1688)には家数33軒、人数195人、天明8年(1788)には42軒、182人とある(いずれも新田分含む)。水利は大島井組に属した。氏神は琴浦神社(近世には琴浦明神社)。</p> <p>昭和27年(1952)には西新田にかけての大庄湿地帯が開発されて尼崎競走場(競艇場)が建設され、昭和38年には阪神電鉄の尼崎センタープール前駅が常設駅となった。</p>
8: 伝来	昭和62年、史料館が柳川啓一氏より借用。平成2年に柳川淑子氏が寄贈。
9: 史料入手先	柳川淑子氏
10: 点数	1,252点(目録件数1,099件)
11: 年代	文禄3年(1594)～昭和22年(1947)
12: 構造と内容	<p>本文書群は、明治期の文書を中心として構成されている。</p> <p>近世の文書は検地帳のほか、蓬川井堰関係の史料などがある。</p> <p>近代は東新田村及び大庄村の村政史料が中心である。地租改正、村の協議費・村費の歳入歳出、大庄小学校、衛生組合、警防団、入送籍、蓬川治水・改修工事等に関する史料などがある。また、琴浦神社など宗教関係、大庄農会関係の史料もまとまっている。</p> <p>柳川家の家史料としては、借用証文、田畑質入れ証文など金融関係の史料がまとまっている。</p> <p>同氏文書(2)1,381点、同(3)129点、同(2)書籍と本来一体。</p>
13: 関連史料	柳川啓一氏文書(2)(3)など
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	河野未央